

はこだて 国際科学祭 2025

「おいしい」
は、お皿の外からやってくる。



実施報告書
サイエンス・サポート函館

はこだて国際科学祭 2025
実施報告書 目次

開催実績とプログラム編成 p.3

広報とデザイン展開 p.4

はこだて国際科学祭プログラム内容

サイエンス・サポート函館 出展企画 p.6

プレイベント期間（出展参加企画）..... p.8

本イベント期間（出展参加企画）..... p.11

ポストイベント期間（出展参加企画）..... p.17

資料編 はこだて国際科学祭 2025 プログラム一覧..... p.18

ご支援のお願い／出展参加のご案内..... p.20

主催組織 サイエンス・サポート函館 p.21

はこだて国際科学祭を支える活動 p.21

はこだて国際科学祭 2025 ご協力者一覧..... p.22

はこだて国際科学祭 2025 メイン会場
函館市地域交流まちづくりセンター（函館市末広町）の
窓ポスターと、函館市電（路面電車）のバナー広告



はじめに

はこだて国際科学祭は、毎年 8 月に広域はこだて圏（函館市、北斗市、七飯町）で開催している市民参加型の科学イベントです。今年は、新たに鹿部町・木古内町を会場とするプログラムが加わり、道南2市3町での開催となりました。子ども向けから大人向けまで、エンターテインメント性の高い企画から科学に関わる社会問題について考える企画まで、これまで以上に幅広い構成となりました。

本科学祭では、より多くの方に興味・関心を持っていただけるよう、身近なテーマである「環境」「食」「健康」の3つを循環テーマとして設定しています。通算 17 回目となる今年は、「食」をテーマに開催しました。【「おいしい」は、お皿の外からやってくる。】をテーマフレーズとして掲げ、初回から第 3 回までメイン会場の一つだった、西部地区の地域交流まちづくりセンターにおいて、3つの定番企画をはじめ、さまざまなプログラムを展開しました。

また、今年は新たな会場として、昨年 12 月にオープンした商業施設「グランディールイチイ」のイベントスペースをご提供いただきました。買い物 の合間に立ち寄れる場所での開催により、これまで科学祭に触れる機会のなかった方々にも、気軽に科学の楽しさを体験していただくことができました。ご協力に感謝いたします。

はこだて国際科学祭 2025 は、函館商工会議所様、HAKODATE 男爵倶楽部 HOTEL&RESORTS 様のご協賛をいただきました。篤志に対し、厚くお礼申し上げます。

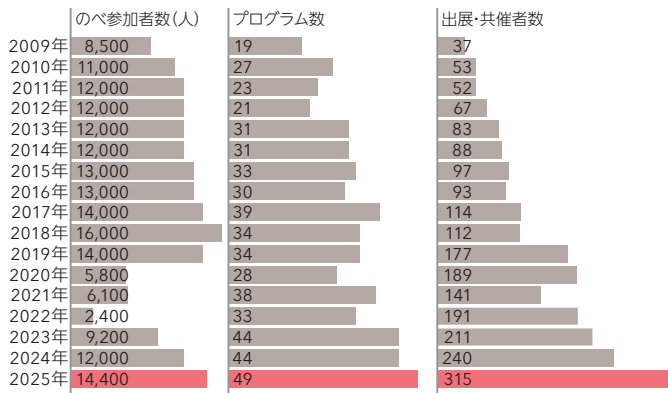
開催実績とプログラム編成

●開催実績

科学祭 2025 は、過去最多を更新する 49 プログラム開催しました。初出展が 9 団体あり、このうちの5つが、科学祭プログラムの1つとして、公式ポスターやチラシ、ウェブサイトをはじめとする広報媒体により、道南地域を中心にイベント開催を広くお知らせする「広報連携企画」でした。（p.20 「出展参加のご案内」参照）

今年は、市立函館高等学校の地域探究学習の他にも、遺愛女子高等学校・函館中部高等学校・函館商業高校の生徒さんが運営スタッフとしてボランティア参加していただきました。

※広報連携企画の出展者数は、個人ではなく団体数をカウントしています。



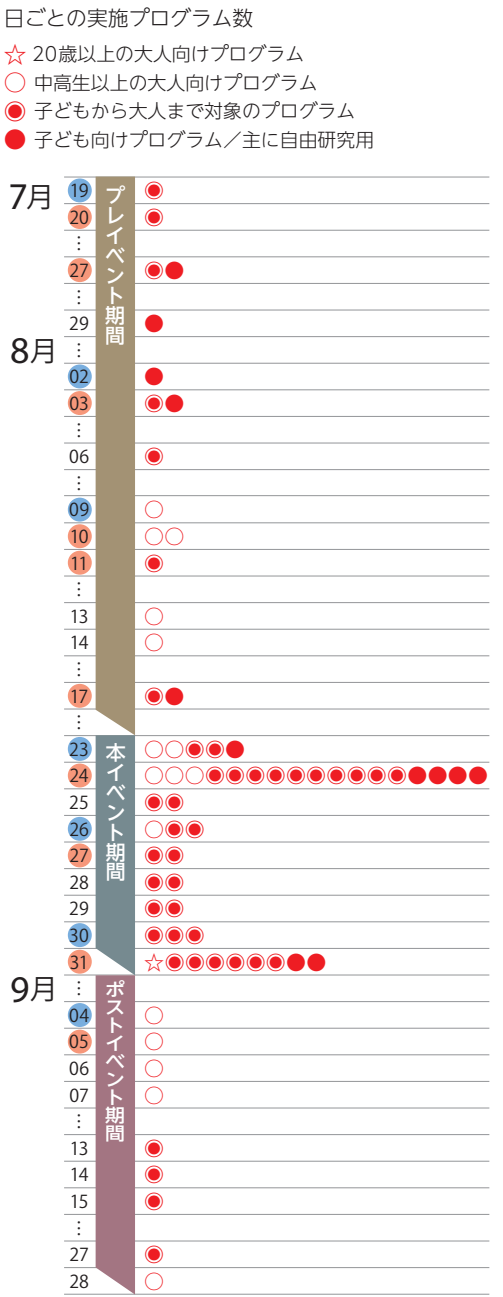
●出展・共催者数の内訳

学校教育	148
政治・経済・文化団体	72
その他の教育, 学習支援業	22
地方公務	15
学術・開発研究機関	8
電気業	8
国家公務	7
医療業	6
食料品 製造業	6
情報サービス	5
農業	4
飲食店	3
ガス業	2
専門サービス	2
その他 小売業	1
映像・音声・文字情報制作業	1
放送業	1
保険業	1
乳製品 製造業	1
木材・木製品製造業 (家具を除く)	1
金属製品 製造業	1




※日本標準産業分類・中分類に準じました。
個人やサークル活動等の参加は、その所属および専門性によって分類を行いました。

●プログラム編成

開催日ごとの実施プログラム数を下図に示しました。



企画展
「おいしい」は、お皿の外からやってくる。

リアル展示：8/23 ～8/31 
オンライン展示：8/23 日 
会場：函館市地域交流まちづくりセンター
対象：どなたでも
制作：FVR ラボ




※ FVR ラボとは、
Fantasy（ファンタジー）： 想像力と創造力を駆使し
Vision（ビジョン）： 望ましい未来を描き
Reality（リアリティ）： 現実世界とのつながりを示す
を実験的に試みるという意味で名付けた、企画展制作チームの名称です。



企画展は、みなさんと共有したいサイエンス・サポート函館からのメッセージとして、その年のテーマにまつわるさまざまな話題を集め、視覚に訴えるパネルを 20 枚作成しています。
最終パネルは、メッセージを一方向的に受け取るだけでなく、来場者も展示に参加していただく仕掛けとして、自分の「推し食」を付箋に書いて貼ってもらいました。市内の飲食店のメニューの他、「彼氏の手料理」「夫の母が作った鯨汁」「ママの作るごはん」「妻がつくる料理」「妻と食べれば何でもおいしい」など、136 枚の付箋が貼られました。


科学夜話スペシャル
大人のサイエンスバー

8/31  16:00～17:30
場所：函館市地域交流まちづくりセンター
対象：20 歳以上
出演：山本博紀（株式会社アルパージュ／チーズ製造技術アドバイザー）
申 東煥（株式会社函館研究所 代表）

「発酵の旨味を五感で楽しむ 90 分」と題して、全国各地のチーズコンテストの審査員も務める山本さんからチーズの歴史や製法について、韓国料理店を営む申さんからキムチやチャンジャ、マッコリ等の韓国の様々な発酵食品についてお話を伺った後、試飲試食タイムとしました。後半はバル街のような盛り上がりで皆さんに楽しんでいただきました。



サイエンスダイアログ
海ノ民話×食



8/23  16:00～17:30
場所：函館市地域交流まちづくりセンター／オンライン（ライブ配信）
対象：中学生以上
出演：池ノ上真一（北海商科大学教授・日本海洋文化総合研究所代表理事）
深江園子（フードライター・プランナー）



「海ノ民話のまちプロジェクト」は、海の学びを含む民話が伝わる市町村を「海ノ民話のまち」と認定しアニメ化することで無形の民話を後世に残す取り組みです。道南では函館市と江差町が認定されています。池ノ上さんからは民話の学術的な解釈の視点が示され、深江さんからは江差町のお餅屋と菓子店が制作した同じ民話の絵本が紹介されました。




第7回 サイエンスフォトコンテスト
受賞作品パネル展示

8/23 ～8/31 
会場：函館市地域交流まちづくりセンター
対象：どなたでも
主催：科学技術広報財団
科学技術団体連合事務局

科学技術団体連合と文部科学省が 2018 年から共催している「サイエンスフォトコンテスト」の 2024 年の受賞作品（A2 判パネル）をお借りして会場に展示しました。
【一般部門】最優秀賞「アンチテイル」
（琵琶湖から写した紫金山・アトラス彗星）
【中高生部門】最優秀賞「奇跡の一輪」
（半分が白、もう半分がピンクの花弁のツツジ）



日本学術会議公開シンポジウム
AI 時代に「対話」の意味を考える
— 熟議がつむぐ知と社会

8/10  9:30～11:50
場所：函館市亀田交流プラザ
対象：高校生以上
主催：日本学術会議第一部
日本学術会議北海道地区会議
公立はこだて未来大学

第一部は歴史学・哲学・地域研究・言語学・法学・社会学の専門家からの話題提供、第二部は哲学対話の手法を用いて参加者とともに「AI 時代の対話」について考えました。日本学術会議という「学者の集まり」「学会の学会」と難しく思われがちですが、参加した市民の方から「楽しかった」という感想をいただいて嬉しく思っています。



はこだて国際科学祭2025 プログラム
プレイベント期間 (出展参加企画)

「ジオ・フェスティバル」ってなに？
～ちきゅうのふしぎ ときあかしちゃお～

7/27 ㊟ ① 11:00 ～ 12:30 ② 13:00 ～ 15:00

場所：グランディールイチイ

対象：どなたでも

主催：ジオ・フェスティバル in Hakodate 実行委員会

予告編として商業施設のイベントスペースをお借りして5ブース展開しました。ココで満足するのではなく「本番に行ってみよう」と思ってもらうための企画です。たまたま奥で恐竜の着ぐるみショーがあり、それに並んでいた親子に声をかけました。ジオ・フェスを知らない人がほとんどでしたが、たくさんの方に興味を持っていただくことができました。

本イベント期間(8月24日)に、まちづくりセンターで開催する《科学屋台》からも2ブースが出展しました。

リアル開催



函館マリンフェスティバル 2025

7/19 ㊟ 10:00 ～ 16:00 7/20 ㊟ 10:00 ～ 15:00

場所：函館市国際水産・海洋総合研究センター

対象：どなたでも

主催：函館国際水産・海洋都市推進機構／函館市

屋外に設置したタッチプールでは、子どもたちが、ナマコやウニ、ヒトデなどの磯の生き物を手づかみして感触や動きを楽しんでいました。会場内では、ブリなどの魚の模型を釣り上げるマグネット釣り堀、海の生き物や探査船などのペーパークラフト、大型実験水槽での魚類展示(サメ・キングサーモン・サバ等)も人気を集めていました。



食の講演会
「ストーリーあるプロデュース
～北海道における人づくり、モノづくり、地域づくり～」

8/9 ㊟ 15:00 ～ 16:00

場所：プレミアホテル -CABIN PRESIDENT-

対象：高校生以上

主催：電源開発株式会社

今年の科学祭テーマ「食」に合わせて、株式会社クリエイティブオフィスキューの代表取締役であり、食とコンテンツのプロデューサーとして北海道の魅力を全国に発信している伊藤亜由美さんから、「食」でつながる人づくり、モノづくり、地域づくりについて、お話をうかがいました。北海道の魅力を発信する取り組み事例をご紹介いただきました。



リアル開催

大森浜ビーチコーミング「食と海ゴミ」

8/11 ㊟ ㊟ 9:15 ～ 12:00

場所：大森浜／サンリフレ函館

対象：海の環境に関心のある方、どなたでも
(校区外の小学生は保護者同伴)

主催：ジオ・フェスティバル in Hakodate
実行委員会 チーム大森浜



今年の参加者は1歳、4歳、5歳、一番大きくて10歳と、未就学児と低学年の小さいお子さんばかりで(理科があるのは3年生以上なので)話が通じるか心配でしたが、自分で集めた漂着物を確実に記載して、どうやったらこのゴミを海で採れるかという案を書いてくれた子もいました。少ない人数でしたがじっくり取り組めた回でした。



「ぶよぶよ・サイエンスノードーム」作り

7/29 ㊟ 10:00 ～ 12:00

場所：函館市女性センター

対象：市内在住 / 在学の小学生と保護者

主催：函館市女性センター

昨年、大人気で抽選に外れてしまった人がたくさんいたので、今年も同じ内容で開催しました。コンブのアルギン酸と、融雪剤の塩化Caを使って、ぷよぷよしたアルギン酸ボールを好きな色で作って、ビンに入れたらオリジナルの「サイエンスノードーム」の出来上がりです。付き添いの大人も思わず夢中になってしまう楽しい工作です。



リアル開催

手作り天体望遠鏡で月を見よう

8/3 ㊟ 15:00 ～ 18:00

場所：市立函館博物館、函館公園

対象：小学生(保護者同伴)

主催：はこだて天文学会クラブ

共催：函館市教育委員会



工作キットを組立て、星座や宇宙をデザインしたシールを貼って完成させた、世界にひとつだけの「マイtelescope」で、立待岬の上空に浮かぶ月を観察しました。スマホで月の撮影に成功する子もいて、親子の歓声が響いていました。科学祭イベントとしたことで、ウェブサイトや印刷物など、多面的な周知・宣伝の恩恵を受けることが出来ました。

リアル開催



ドライアイスdeサイエンスショー

7/27 ㊟ 14:00 ～ 15:30

場所：函館市亀田交流プラザ

対象：小学生

主催：函館市亀田交流プラザ

ドライアイスは、約-78.5℃の二酸化炭素のかたまり、固体です。このドライアイスが空気中の水蒸気を一気に冷やして白い霧が発生します。この霧をシャボン玉の中に閉じ込めたり、薬局で買える無水エタノールを使って生花やバナナを凍らせる実験を見てもらいました。偏光板という黒い板を使ったステンドグラス作りにも挑戦しました。



リアル開催

道南農試公開デー

8/6 ㊟ 13:00 ～ 15:00

場所：道南農業試験場

対象：どなたでも

主催：北海道立総合研究機構農業研究本部
道南農業試験場

毎年8月に「公開デー」として、試験場の研究内容についての紹介をしたり、家庭菜園で困っていることの相談を受けたりしています。お米の品種について、どういふうに進化してきたかを展示したり、食味試験を体験してもらったりしました。その他、バードコール工作やフラワーアレンジメント体験など、近年で最多の参加者数となりました。



ジオ散歩ミニ
「鮫川洪水と緑園通の歴史をさぐる」

8/3 ㊟ 8:30 ～ 10:00

場所：深堀町から湯川町の鮫川沿いと緑園通

対象：小学生以上どなたでも

主催：ジオ・フェスティバル実行委員会

深堀小学校・中学校のあたりから湯の川までの緑と川に沿った涼しい散歩コースとしました。洪水が頻繁に起きていた理由は？緑園通が周りより少し高くなっているのはどうして？深堀川と鮫川の合流地点の水の色が違うのは何故？いろいろ考えてもらいながら回りました。取り壊されてしまった「開進橋」もパネル写真で見てもらいました。



リアル開催

ちかこ先生の科学で楽しく自由研究！
空気砲とかさ袋ロケットを作ろう！

8/2 ㊟ 10:00 ～ 12:00

場所：函館市青年センター

対象：小学生と保護者

主催：函館市青年センター

先生が用意した大きなダンボール空気砲で空気の動き(渦輪)を観察した後、親子で実際に空気砲を作って紙コップタワーを倒したり、ペットボトルと風船で作った空気砲的当てをしました。傘袋で作ったロケットは、遠くまで飛ばすにはどうしたらいいか工夫して試しました。最後は、空中で回る風船の輪くぐり…あっという間の2時間でした。



リアル開催

SF プロトタイピングを使って考える
「100年後の食」

8/10 ㊟ 13:00 ～ 15:00

場所：オンライン(ライブ配信)

対象：中学生以上

主催：日本ファシリテーション協会
科学技術社会実装研究グループ



SF小説やゲームなどの「もしもの世界」を考える…科学技術が進化した未来の世界を考える「SF プロトタイピング」と呼ばれる思考方法があります。今回のワークは「食」×「テクノロジー」をキーワードに、わたしたちの未来の社会を、想像力・創造力を駆使して予測し、いろいろな角度から幸せな世界の創り方を楽しく考えました。

はこだてブレインサイエンストーク6 ～心の正体を脳科学でひもとく～

8/13 ㊦ 13:00 ～ 15:00

場所：函館市地域交流まちづくりセンター／オンライン (ライブ配信)

対象：どなたでも

主催：お茶の水女子大学 毛内研究室

もともと函館出身で函館の皆さんに何か恩返しをしたい」という思いから、自分の専門分野である脳科学に関する中高校生向けイベントを主催し、今年でかれこれ6年目になります。当日の参加者が少なく、周知が不足していたと反省しています。場所の問題と日程的にも、お盆中の開催だったこともあり、もう少し工夫が必要でした。



第2回 脳科学や心理学、アートを 起業や企業経営に活かす in 函館

8/14 ㊦ 10:00 ～ 15:00

場所：函館市地域交流まちづくりセンター／オンライン (ライブ配信)

対象：どなたでも

主催：お茶の水女子大学 毛内研究室

早稲田大学 MBA 教授の東出浩教先生をゲストにお招きして「脳科学や心理学、アートを企業経営に生かす」という取り組みについてご紹介しました。地元の起業家や倫理法人会という企業系の集まりの方にもご参加いただき、青森から来てくださった方もいて充実した会となりました。来年も継続して実施していきたいと思っています。



昆虫学習会

8/17 ㊦ 11:00 ～ 12:00

場所：イマジンホテル&リゾート

対象：小学生と保護者

主催：函館市熱帯植物園 (指定管理：函館エコロジークラブ)

例年は植物園内で行う昆虫学習会ですが、今年は猛暑による体調不良等の健康面を考慮して植物園隣のイマジンホテルを会場として開催しました。エアコンの効いた室内で、「道南虫の会」会員の林原先生のお話を興味深く聞き、昆虫に関するクイズに元氣よく答えていました。子どもたちは、参加賞として配られたクワガタを手にと大満足の様子でした。



第9回 ジオ・フェスティバル in Hakodate

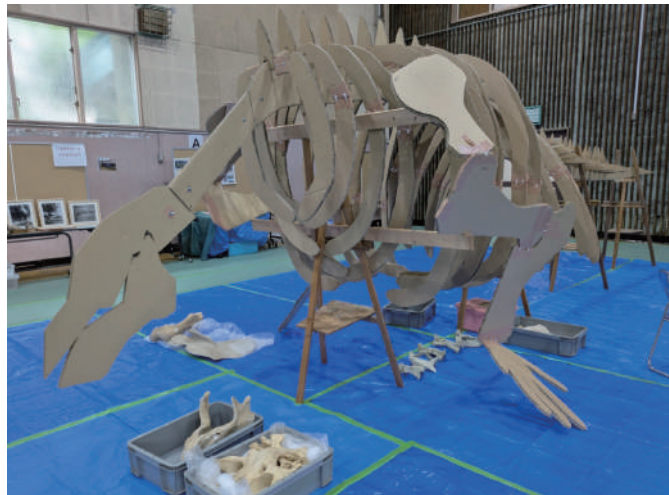
8/17 ㊦ ① 9:30 ～ 12:00 ② 12:30 ～ 15:00

場所：函館市青年センター

対象：どなたでも

主催：ジオ・フェスティバル in Hakodate 実行委員会

開始時間前から行列ができ、始まって以来の参加者数でした。昨年はピリカイギウウの化石レプリカを発掘されたのはこの部分とわかるようにテープで全身を形どって並べただけでしたが、今年は北翔大学の学生がダンボールで立体模型を作ってその下に並べました。「科学祭のチラシ・ウェブサイトを見て来た」「予告編に来た」という人もいました。



キッチンサイエンス 「水と油の仲良しチョコレートケーキ」

8/23 ㊦ ① 10:30 ～ 12:00 ② 13:30 ～ 15:00

場所：函館市青年センター

対象：小学生と保護者

主催：函館市青年センター／公益財団法人北海道学術振興財団

協力：NPO 法人くらしとバイオプラザ 21

科学祭プログラムとして毎年開催している『キッチンサイエンス』は、これまで10年以上「カラマジックケーキ」ということで酸性和アルカリ性で色が変わる3色のケーキを作りましたが、今回は初の試みとして「水と油の仲良しチョコレートケーキ」と題して、本来混じり合わない水と油が仲良くなる“乳化”を、ケーキ作りを通して学びました。



「海ノ民話から学ぶ海のめぐみ」

8/24 ㊦ 10:30 ～ 12:00

場所：地域交流まちづくりセンター

対象：中学生以上

主催：一般社団法人 日本海洋文化総合研究所

函館の『ムイとアワビの合戦』と江差の『折居婆さんと鯨』を題材に、歴史や地理といった背景を共有し、アニメーション化の意義や地域での活用方法、これからの課題について話し合いました。その後の粘土ワークショップでは、函館商業高校の生徒さんにご協力いただき、アニメーションの一部をクレイアニメーションとして再現しました。



親子バイオ実験教室『DNA をとりだそう』

8/24 ㊦ 10:30 ～ 12:00

場所：函館市青年センター

対象：小学生と保護者 大人ひとりの参加も歓迎。

主催：函館市青年センター／公益財団法人北海道学術振興財団

協力：NPO 法人くらしとバイオプラザ 21



バナナ・トウモロコシ・ミニトマト・小松菜・ブロッコリー・鶏ひき肉という6種の食材のDNAを目に見えるものとして取り出す実験をしました。集客に際しては紙媒体が効果的で、小学生向けプログラムは学校にチラシを送れば子供たちの手元に届くのですが、大人向けプログラムは手元に紙を届ける手段がないので難しいと実感しています。

『百姓貴族』でつながる、牧場と食卓とわたし

8/24 ㊦ 10:30 ～ 12:00

場所：地域交流まちづくりセンター

対象：どなたでも

主催：ACADEMIJAN

漫画家・荒川弘先生の『百姓貴族』は、日本の農業が抱える苦しい現実とともに、重要性や仕事としての魅力をユーモラスに描いています。この『百姓貴族』のアニメを視聴した後、十勝の酪農家・坂根さんの現場目線での話や、農業の構造的課題解決に取り組む北海道大学の清水池先生のお話を聞き、酪農の未来について語り合いました。





かつて《はこだて赤テント／科学屋台》という名前で展開していた科学体験ブースは、ロゴマークの共通パネルを置いて、メイン会場（函館市地域交流まちづくりセンター）で開催しました。

《科学屋台》
高校生のサイエンス研究

8/23 10:00～15:00
場所：地域交流まちづくりセンター
対象：中高生以上、大人向け
主催：サイエンス・サポート函館



函館大学付属柏稜高等学校 理科研究部：
函館白尻産ダルスにおける雄性配偶体の出現傾向とフィコピリタンパク質量



七飯高等学校 科学部：
大沼の水質とアオコについて

《科学屋台》
人工知能を触って・遊んで・学んでみよう！

8/24 10:00～16:00
場所：地域交流まちづくりセンター
対象：どなたでも
主催：aiEDU JAPAN 函館

小学生向けに簡単なツールを使って人工知能について知ってもらう企画で、今年は科学屋台として出展したことで、例年の2倍くらいの人に来てくれてなかなか盛況でした。お子さんにグー・チョコ・パーを判別できる画像認識 AI を使った体験をしてもらいながら、保護者の方に対して chatGPT の使い方について説明をしました。



「ポスターセッションは初めてで最初は緊張していましたが、幅広い年齢層の人と話ができて、充実した時間でした。」「他校の発表からは、地域の課題を解決したいという想いや、強みを活かしたいという情熱が伝わってきて、大変刺激を受けました。」「来場者や他校の先生から質問に答えることでより知識を深めることができました。」



大野農業高等学校 ボランティア部：
大野川の調査



大野農業高等学校 野菜班：
農業分野における日照解析データの活用に関する研究（2年目）

《科学屋台》
電気をつくってみよう！

8/24 10:00～16:00
場所：地域交流まちづくりセンター
対象：小中学生
主催：電源開発株式会社

自分で作った手回し発電機で豆電球と LED を点灯し、光らせるのに必要な力が全然違うと驚いていたのが印象的でした。自転車型発電機が今日の1位」と記録を貼っていたので、楽しみながら挑戦してもらえました。プレイベント(予告編)では手回し発電の体験だけで「本番では自分で作って持ち帰れます」と案内したので、当日来てくれた方々もいました。



《科学屋台》
みんなの歯はどんなかたち？

8/24 10:00～16:00
場所：地域交流まちづくりセンター
対象：どなたでも
主催：いきもの進化ラボ

科学祭参加は3回目、ついに個人でブース出展することができました。テーマ「食」に合わせて、デスマスチルス、プリオサウルス、ティラノサウルスの歯の化石のレプリカを持参して、それぞれがどんなものを食べていたのかを推理してもらいました。感想にも、歯のしくみや食性について触れてくれていて良いイベントになったと思います。



《科学屋台》
月にかわって教えるよ！

～月の満ち欠け・動き・宇宙のふしぎを体験しよう～
8/24 10:00～16:00
場所：地域交流まちづくりセンター
対象：どなたでも
主催：チーム月

参加者からアンケートに「とてもわかりやすい説明だった」とか「月と地球と太陽の関係が理解できた」と高い評価をいただくことができました。地球の立場になって月を見たり、月の満ち欠けや太陽との位置関係を見るだけでなくフラフープを使って体で感じられるようにしたりと工夫したので、楽しく学んでもらえたのではないかと思います。



《科学屋台》
元気のひみつは血液にあり！
～血流を見て体内環境を考えよう！～

8/24 10:00～16:00
場所：地域交流まちづくりセンター
対象：どなたでも
主催：株式会社浅井ゲルマニウム研究所

科学祭への出展は今年で3回目になります。例年実施の「マイクロスコープによる毛細血管の血流観察」に加え、血液の中で酸素の運搬を担うヘモグロビン測定装置を新たに導入しました。プレイベント(予告編)で「毛細血管の形は食事や運動で変わるので4週間後にもう一度測定しませんか?」と呼びかけをして、実際に来てくれた方々もいました。



《科学屋台》
「はこだて科学寺子屋」成果発表

8/24 10:00～16:00
主催：はこだて科学寺子屋
場所：地域交流まちづくりセンター
対象：どなたでも

8月初に開催した「はこだて科学寺子屋」の課題で、科学イベントの企画立案を行いました。その成果発表の場としての出展です。「カロリー過剰摂取の注意喚起」「食品添加物との正しい付き合い方」「プラスチック容器・安全な食生活への工夫」の3つを取り上げました。科学技術コミュニケーションの実践的な側面を学ぶことができました。



AI って危険なの？
みんなで考えよう！

リアル
開催

8/24 ㊟ 13:00 ～ 15:00
場所：地域交流まちづくりセンター
対象：どなたでも
主催：aiEDU JAPAN 函館

AI について議論するワークショップ 3 回目の今年
は「給食の献立を作る AI を導入したら学校は
どうなるだろう？」というテーマで議論しまし
た。参加者は、半分为未来大生、もう半分为
教育大生、それに社会人が一人という構成で
した。これをきっかけに科学祭を知ってくれた
学生もいて、来年は自分も出展してみたいと言
っていました。



マジカルスライムを作ろう！
～温度で変わる魔法の色～

リアル
開催

8/24 ㊟ ① 10:30 ～ 11:30 ② 14:00 ～ 15:00
場所：はこだてみらい館
対象：小学生
主催：はこだてみらい館

体温で色が変わるス
ライムや、紫外線を
あてると色が変わる
スライムを作りました。
初めて自分たち
で内容を企画し小
学生の子供たちを
対象にワークショ
ップを開催するとい
う体験をしました。参
加者への接し方につ
いては、全体的なも
のよりも、個別フォ
ローヤー一人一人に話
しかけることが、楽
しい気持ちになれた
りするのではないかと
感じました。



北海道創才セミナー
算数・数学を楽しもう！

リアル
開催

8/24 ㊟ 10:00 ～ 16:00
場所：大沼国際セミナーハウス
対象：小中学生と保護者
主催：北海道創才教育推進会

第 1 部は未来大の新美先生による実際の交通
事故記録を元に作ったデータから統計を学ぶ授
業、第 2 部は明星小学校の細水先生による数字
の不思議さや楽しさを発見する授業、第 3 部
はアルゴゲーム大会でした。「昨年も参加して今
年も参加しました。来年も参加します。」と楽し
みにしている子もいて、そうした声を集客に生
かしていきたいと思っています。



木育
～木でつくるカトラリー～

リアル
開催

8/31 ㊟ 9:30 ～ 12:00
場所：七飯町文化センター 201 会議室
対象：小学生と保護者
主催：ななえ・大沼学びの森実行委員会

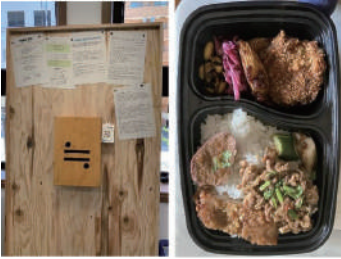
ななえ・大沼学びの森実行委員会は、2016 年
に七飯町木育環境教育実践事業で関わった有志
が 2017 年に立ち上げた会で、木育や環境を
学ぶ場を企画運営しています。毎年、科学祭の
テーマに合わせて地元の木材を使った工作教室
を開催しています。今年は「食」がテーマとい
うことでカトラリー（ナイフ・フォーク・スプーン）
を作りました。



㊟の取り組みと、Pokke Food museum

リアル
開催

8/24 ㊟ 11:00 ～ 13:00
場所：地域交流まちづくりセンター
対象：どなたでも
主催：Pokke dish



前半は『地域課題を解決する商品
開発や環境の変化に応じた食のあ
り方』と題し「ブリ塩ラーメン」「ハ
コダテアンチョビ」開
発の経緯を後半は「㊟」
という貧困に対する料
理人の挑戦の話をし
ました未活用食材を使
った弁当を【㊟ 1200】
（¥1200 を目安に、金
銭的余裕がない人は
少なく、誰かを援助
したい人は多く箱に
入れる）で販売しまし
た。



函館の高校生の食の祭典

リアル
開催

8/24 ㊟ 13:00 ～ 16:00
場所：地域交流まちづくりセンター
対象：どなたでも
主催：Pokke dish

市内の豆腐店で廃棄さ
れている「おから」の
活用について探究し
ました。この活動を通
して、食品ロス削減に
向けた実践的な学びが
得られました。「おから」
を使ったパンケーキの
開発では齋藤シェフに
もアドバイスをいた
だきながら試行錯誤を
重ねましたが、最終
的に商品として校内
で販売できたことは
大きな達成感につな
がりました。



ソプソプ博士と学ぶクッキングサイエンス

リアル
開催

8/24 ㊟ 10:00 ～ 16:00
場所：地域交流まちづくりセンター
対象：小学生
主催：ソプソプ博士教育研究所
協力：株式会社函館研究所

韓国の人気サイエンス
コミュニケーター・ソ
プソプ博士の出展 3
回目は、「日本の海苔
巻き vs 韓国の海苔
巻き」というテーマ
で、実際に作って食
べてみる体験をし
ました。参加者の中
には事前に韓国語を
勉強してメモを見
ながら挨拶したり
質問したりしてい
る子もいて、イ
ベントをとて
も楽しみにして
くださっていた
ことが伝わって
きました。



哲学対話で考える「食」のこと

オン
ライン

8/26 ㊟ 20:00 ～ 21:30
場所：オンライン（ライブ配信）
対象：どなたでも
主催：リベラルアーツとちぎ

今年で 4 年目の出展となり
ます。告知が遅れたせいも
あり参加者は少なめでは
したが、内容の濃い回となり
ました。話題提供者とか特
定のテーマを設定せず参
加者から話したいことを伺
い、その中から話を進め
ていくスタイルをとって
いますが、今回は食糧問
題、味覚、宇宙食、大
量生産と添加物、果
実の甘味の増加と農
業への影響など多岐
にわたりました。



おうちでサイエンス 2025

リアル
開催

8/31 ㊟ 13:00 ～ 14:00
場所：グランディールイ
チイ
対象：どなたでも
主催：サイエンス・サ
ポート函館

初めての商業施設で、2F
の催事場でワークショ
ップを行う予定では
したが、前日「地下 1F
が空いたので良かった
ら」と言っていたいて、
サイエンスショーに
変更しました。小
学生だけでなく高
校生や後ろで 1 時
間立ったまま見て
くれた大人の方も
大勢いました。こ
ういう所でショー
をすることで科
学に馴染みのない
人にも興味を持
ってもらえると
実感しました。

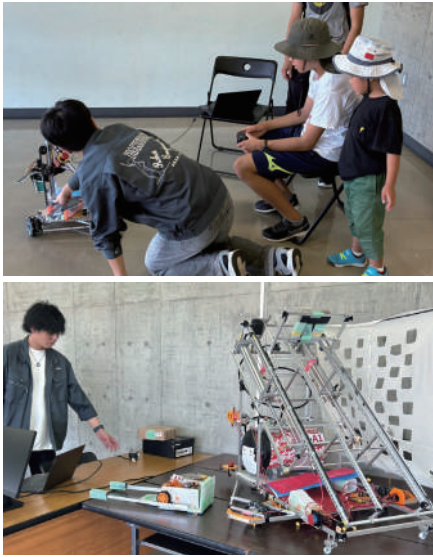


はこだて国際科学祭 2025 プログラム
本イベント期間 (出展参加企画)

函館高専メカニズムフェスティバル

8/31 ㊥ 10:00 ~ 15:00
場所：千代台公園陸上競技場
対象：どなたでも
主催：函館工業高等専門学校

函館高専ロボット研究会が作成し昨年の大会に出たロボットの展示と、訓練用ロボットの操作体験してもらいました。ロボット研究会は今年も高専ロボコン全国大会に出場することができました。高専ロボコンは、全国の高専学生が毎年異なる競技課題に対し、アイデアを駆使してロボットを製作し、競技を通じてその成果を競う大会です。



きこない防災教育フェス 2025

8/31 ㊥ 10:00 ~ 16:00
場所：木古内町中央公民館／木古内町ファミリースポーツセンターほか
対象：どなたでも
主催：きこない防災教育フェス実行委員会
共催：木古内町／木古内町教育委員会

小中学生を対象に、地元の消防や警察、自衛隊、行政、学校が連携し、自助・共助・公助を実感できるプログラムをたくさん用意しました。「防災運動会」では、バケツリレーや担架搬送、ウルトラクイズで知識チェックに挑戦しました。結果は、大人のチームを破って小学生陸上部チームが優勝、その順応性の高さに驚かされました。



うみをまもる給食かいぎ

8/31 ㊥ 10:00 ~ 13:00
場所：鹿部中央公民館
対象：小学生と保護者
主催：鹿部町教育委員会
企画：ローラ♡ファーム
NPO 法人のこたべ

「持続可能な給食のあり方を考える」という食育イベントに、鹿部町だけでなく函館市や北斗市の小学生が参加しました。函館市の割烹旅館の料理長の指導のもと、鹿部産の海産物や函館・森産の野菜を使って子どもたちが作った給食を、大人の参加者と一緒に味わいました。食に関する気づきが参加者の行動を促し、次のステップに発展しそうです。



青少年のための科学の祭典 函館大会

8/31 ㊥ 10:00 ~ 15:00
場所：千代台公園陸上競技場
対象：どなたでも
主催：青少年のための科学の祭典 函館大会 実行委員会

「科学の祭典」は1992年に東京で初開催され、全国に広がりました。北海道では1993年に札幌、1997年に北見、1998年に室蘭と会場が増え、函館では1999年から「ざいだんフェスティバル」の一環として行われています。今年も小中高大の理科教員が中心となって、実験・工作・観察などの16ブースが並びました。



はこだて国際科学祭2025 プログラム
ポストイベント期間 (出展参加企画)

つなげる ABA 世界自閉症サミット

9/4 ㊤ ~ 9/7 ㊥
場所：はこだて未来大学 (9/4 ㊤)
函館国際ホテル (9/5 ㊤ ~ 9/7 ㊥)
対象：一般、医療関係者、認定行動分析士、教師、保護者、当事者、学生、行政
主催：つなげる ABA 世界自閉症サミット実行委員会
共催：一般社団法人アジア・パシフィック ABA ネットワーク

日本初のサミットを函館で開催できたことを嬉しく思っています。世界10カ国以上から自閉症・発達障害に関するトップレベルの組織が参加し、大泉市長にもご挨拶いただいたり、函館西高校の先生と生徒さんがドキュメンタリーを作ってくださいました。学会ではありますが、次回はお子さんやご家族が関わるような企画を考えたいと思いました。

はこだて防災マルシェ 2025

9/27 ㊤ 10:00 ~ 15:30
場所：函館市地域交流まちづくりセンター
対象：どなたでも
主催：函館市女性会議
函館市地域交流まちづくりセンター

5回目(科学祭出展は3回目)となった今年の目玉は、3年越しで実現した函館国際ホテル総料理長の木村シェフによる炊き出しでした。毎回、まちセンで開催していますが「函館大火で内部を全焼したものの何度も改修が行われ、今も残るこの建物での開催は意味がある」と消防署の方から言っていたので、今後も継続していきたいと思っています。



科学技術映像祭入選作品上映会

9/13 ㊤ ~ 9/15 ㊥ 10:00 ~ 20:00
場所：はこだてみらい館
対象：どなたでも
主催：はこだてみらい館

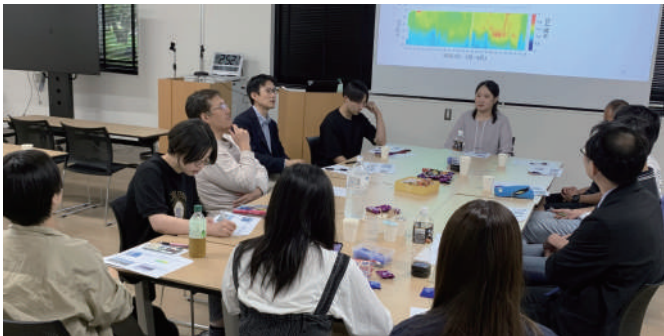
「第66回科学技術映像祭」入選作品14作品のうちの3作品を館内のシアターで、1日1作品ループ上映・出入自由とし任意のタイミングで視聴していただくようにしました。映像の内容紹介や上映時間を記載したものを掲示して、作品への興味を引けるようにしたことで、暗い空間ではあったものの入りやすい雰囲気にはできたように思います。



第33回 海のサイエンスカフェ
「砕氷船ポーラーシュテルンと行く！
北極の海をめぐる旅」

9/28 ㊥ 13:30 ~ 15:30
場所：北海道大学 函館キャンパス
対象：どなたでも
主催：日本海洋学会 教育問題研究会
北海道大学 大学院水産科学研究院 上廣海洋学分野

昨年10月に完成した水産科学未来人材育成館の1階ホールで開催しました。講師の孫先生は海洋物理が専門で、北極海の観測を続けています。今夏はドイツの観測船に乗って2ヶ月以上も観測した報告の他、シロクマ対策として出発前にドイツで狩猟のライセンスを取得した話や観測船の内部の紹介なども出て、参加者の興味を引くことが出来ました。



資料編 はこだて国際科学祭2025 プログラム一覧

番号	プログラム名	期日	会場	開催形式	対象	主催等	掲載
1	函館マリンフェスティバル 2025	7/19、7/20	海洋総合研究センター	リアル開催	●	国際水産・海洋都市推進機構 函館市	p.8
2	「ジオ・フェスティバル」 ってなーに？	7/27	グランディールイチイ	リアル開催	●	ジオ・フェスティバル in Hakodate 実行委員会	p.8
3	ドライアイス de サイエンスショー	7/27	函館市亀田交流プラザ	リアル開催	●	函館市亀田交流プラザ	p.9
4	ぶよぶよサイエンスノードーム作り	7/29	函館市女性センター	リアル開催	●	函館市女性センター	p.8
5	科学で楽しく自由研究♪ 空気砲とかざ袋ロケットを作ろう	8/2	函館市青年センター	リアル開催	●	函館市青年センター	p.9
6	ジオ散歩ミニ 「鮫川洪水と、緑園通の歴史をさぐる」	8/3	深堀町〜湯川町 緑園通	リアル開催	●	ジオ・フェスティバル in Hakodate 実行委員会	p.9
7	手作り天体望遠鏡で月を見よう	8/3	市立函館博物館 函館公園	リアル開催	●	NPO 法人 はこだて天文宇宙クラブ	p.9
8	道南農試公開デー	8/6	道南農業試験場	リアル開催	●	北海道立総合研究機構 道南農業試験場 (協力) 渡島総合振興局／北海道立総合研究機構 林業試験場 道南支場／ 渡島農業改良普及センター	p.9
9	食の講演会「ストーリーあるプロデュース」	8/9	ホテル CABIN PRESIDENT	リアル開催	○	電源開発株式会社	p.8
10	日本学術会議 公開シンポジウム AI 時代に「対話」の意味を考える	8/10	函館市亀田交流プラザ	リアル開催 + オンライン	○	日本学術会議第 1 部／日本学術会議北海道地区会議 公立はこだて未来大学	p.7
11	SF プロトタイピング 100 年後の「食」	8/10	ー	オンライン	○	日本ファシリテーション協会 科学技術社会実装研究グループ	p.9
12	大森浜ビーチコーミング「食と海ゴミ」	8/11	大森浜 サンリフレ函館	リアル開催	●	ジオ・フェスティバル in Hakodate 実行委員会 チーム大森浜	p.8
13	はこだてブレインサイエンストーク 6 〜心の正体を脳科学でひもとく〜	8/13	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催 + オンライン	○	お茶の水女子大学 毛内研究室 経営と脳科学の研究部会	p.10
14	第 2 回 脳科学や心理学、アートを 起業や企業経営に活かす in 函館	8/14	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催 + オンライン	○	お茶の水女子大学 毛内研究室 経営と脳科学の研究部会	p.10
15	第 9 回 ジオ・フェスティバル in Hakodate	8/17	函館市青年センター	リアル開催	●	ジオ・フェスティバル in Hakodate 実行委員会	p.10
16	昆虫学習会	8/17	イマジン ホテル&リゾート函館	リアル開催	●	函館エコロジークラブ	p.10
17	企画展 「おいしい」は、お皿の外からやってくる。	8/23〜8/31	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	●	サイエンス・サポート函館	p.6
18	第 7 回 サイエンスフォトコンテスト 受賞作品パネル展示	8/23〜8/31	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	●	科学技術広報財団 科学技術団体連合事務局	p.7
19	《科学屋台》高校生のサイエンス研究	8/23	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	○	サイエンス・サポート函館	p.12
20	キッチンサイエンス 「水と油の仲良しチョコレートケーキ」	8/23	函館市青年センター	リアル開催	●	函館市青年センター 公益財団法人 南北北海道学術振興財団	p.11
21	サイエンスダイアログ「海ノ民話×食」🗣️	8/23	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催 + オンライン	○	サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊	p.7
22	《科学屋台》電気をつくってみよう！	8/24	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	●	電源開発株式会社	p.13
23	《科学屋台》元気のひみつは血液にあり !?	8/24	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	●	株式会社浅井ゲルマニウム研究所	p.13
24	《科学屋台》月にかわって教えるよ！	8/24	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	●	チーム月	p.13
25	《科学屋台》みんなの歯はどんなかたち？	8/24	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	●	いきもの進化ラボ	p.13
26	《科学屋台》人工知能を触って遊んで・学んでみよう！	8/24	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	●	aiEDU JAPAN	p.12
27	《科学屋台》『はこだて科学寺子屋』成果発表	8/24	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	●	はこだて科学寺子屋	p.13
28	ソブソブ博士と学ぶワッキングサイエンス	8/24	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	●	ソブソブ博士教育研究所 (協力) 株式会社函館研究所	p.15
29	海ノ民話から学ぶ海のめぐみ	8/24	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	●	一般社団法人 日本海洋文化総合研究所	p.11
30	「百姓貴族」でつながる、牧場と食卓とわたし	8/24	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	●	ACADEMIJAN	p.11
31	AI って危険なの？みんなで考えよう！	8/24	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	○	aiEDU JAPAN	p.14
32	親子バイオ実験教室「DNA をとりだそう」	8/24	函館市青年センター	リアル開催	●	函館市青年センター 公益財団法人 南北北海道学術振興財団	p.11
33	マジカルスライムを作ろう！	8/24	はこだてみらい館	リアル開催	●	はこだてみらい館	p.14
34	北海道創才セミナー 「算数・数学を楽しもう！」	8/24	大沼国際 セミナーハウス	リアル開催	●	北海道創才教育推進会	p.14

番号	プログラム名	期日	会場	開催形式	対象	主催等	掲載
35	≡の取り組みと、Pokke food museum	8/24	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	○	Pokke dish	p.15
36	函館の高校生の食の祭典	8/24	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	○	Pokke dish	p.15
37	哲学対話で考える「食」のこと	8/26	ー	オンライン	○	リベラルアーツとちぎ	p.15
38	プラネタリウム上映&星の観祭会	8/30	函館プラネタリウム館	リアル開催	●	NPO 法人 函館プラネタリウムの会	p.14
39	木育〜木でつくるカトラリー〜	8/31	七飯町文化センター	リアル開催	●	ななえ・大沼学びの森実行委員会	p.14
40	うみをまもる給食かいぎ	8/31	鹿部中央公民館	リアル開催	●	鹿部町教育委員会 (企画) NPO 法人 のこたべ／ローラ♡ファーム	p.16
41	きこない防災教育フェス 2025	8/31	木古内町中央公民館 ファミリースポーツセンター	リアル開催	●	きこない防災教育フェス実行委員会 木古内町／木古内町教育委員会 "	p.16
42	青少年のための科学の祭典函館大会	8/31	千代台公園陸上競技場	リアル開催	●	青少年のための科学の祭典函館大会 実行委員会	p.16
43	函館高専メカニズムフェスティバル	8/31	千代台公園陸上競技場	リアル開催	●	函館工業高等専門学校	p.16
44	おうちでサイエンス 2025	8/31	グランディールイチイ	リアル開催	●	サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊	p.15
45	科学夜話スペシャル「大人のサイエンスバー」	8/31	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	☆	サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊	p.6
46	つなげる ABA 世界自閉症サミット	9/4、5、6、7	はこだて未来大学 函館国際ホテル	リアル開催	○	つなげる ABA 世界自閉症サミット実行委員会 一般社団法人アジア・パシフィック ABA ネットワーク	p.17
47	科学技術映像祭入選作品上映会	9/9	はこだてみらい館	リアル開催	●	はこだてみらい館	p.17
48	はこだて防災マルシェ 2025	9/27	函館市地域交流 まちづくりセンター	リアル開催	●	函館市女性会議 函館市地域交流まちづくりセンター	p.17
49	第 33 回 海のサイエンスカフェ 「砕氷船ボーラーシュテルンと行く！ 北極の海をめぐる旅」	9/28	北海道大学 函館キャンパス	リアル開催	○	日本海洋学会 教育問題研究会 北海道大学大学院水産科学研究院 上廣海洋学分野	p.17

 このマークのイベントでは、
コミュニケーション支援アプリ「UD トーク」によるリアルタイム字幕を提供

- ☆ 20 歳以上の大人向けプログラム
○ 中高生以上の大人向けプログラム
● 子どもから大人まで対象のプログラム
● 子ども主対象プログラム / 自由研究

はこだて国際科学祭 2025 会場マップ



今年の科学祭は、函館市地域交流まちづくりセンター（函館市末広町）を
メイン会場として開催しました。 <https://hakomachi.com/>

	プログラム数	開催日数
① 函館市地域交流まちづくりセンター	20	12
② 函館市青年センター	4	4
③ はこだてみらい館	2	9
④ 亀田交流プラザ	2	2
⑤ グランディールイチイ	2	2
⑥ 千代台公園陸上競技場	2	1
⑦ 公立はこだて未来大学	1	1
⑧ 函館国際ホテル	1	3
⑨ 函館市国際水産・海洋総合研究センター	1	4
⑩ 函館市女性センター	1	2
⑪ 市立函館博物館・屋外(函館公園)	1	1
⑫ 函館プラネタリウム館	1	1
⑬ 北海道大学水産学部函館キャンパス	1	1
⑭ プレミアホテル -CABIN PRESIDENT- 函館	1	1
⑮ イマジンホテル&リゾート函館	1	1
⑯ サンリフレ函館・屋外(大森浜)	1	1
⑰ 屋外(緑園通)	1	1
⑱ 道南農業試験場(北斗市)	1	1
⑲ 七飯町文化センター(七飯町)	1	1
⑳ 大沼国際セミナーハウス(七飯町)	1	1
㉑ 木古内町中央公民館／ファミリースポーツセンター(木古内町)	1	1
㉒ 鹿部中央公民館(鹿部町)	1	1
オンライン開催のみのイベント	2	2
合計	49	51

ご支援のお願い

はこだて国際科学祭は、皆様からのご支援によって成り立っています。ご支援の方法としては、【出展参加】【運営協力】【協賛金】の3つがあります。個々のプログラムは、ボランティアに【出展参加】【運営協力】してくださる多くの個人・団体の方に支えられています。

祝祭空間のデザイン制作（はこだて国際科学祭は、複数の科学イベントの集合体を1つの“お祭り”として演出するため、統一ビジュアルを使用）ならびに、サイエンス・サポート主催の3プログラム（その年のテーマを掘り下げる企画展の制作、サイエンスダイアログ・科学夜話スペシャルにご登壇いただくゲストの招へい等）に、多くの費用を必要としています。

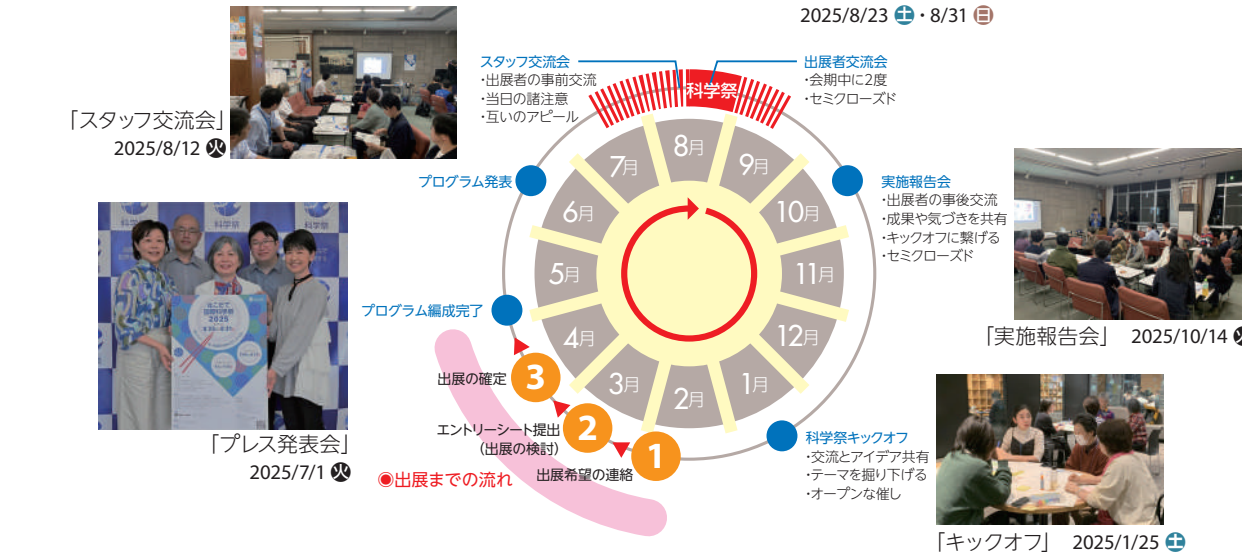
【協賛金】によるご支援につきましては
①公式ポスター・チラシ、ウェブサイト等でのご紹介
はこだて国際科学祭の広報媒体に企業名のロゴを掲載し、ご紹介します。
②税制上の優遇
はこだて国際科学祭への協賛金は、主催組織であるサイエンス・サポート函館の庶務を担当する公立はこだて未来大学あての使途指定寄附金として頂戴します。このため、公立大学法人へへの寄附として税制上の優遇措置を受けることができます。
詳細は、サイエンス・サポート函館事務局までお問い合わせください。

●はこだて国際科学祭 2025 収支報告

収入	
費目	金額 (千円)
公立はこだて未来大学 科学技術理解増進事業経費充当分	3,025
寄付金 (公立はこだて未来大学あて 使途指定寄附金)	300
合計	3,325

支出	
費目	金額 (千円)
プログラム実施個別経費 (科学祭話題提供者招へい謝金等)	379
プログラム実施共通経費 (企画展デザイン制作費等)	1,651
広報費 (科学祭公式ポスター・公式チラシ等の印刷費)	374
記録経費 (記録動画制作費、実施報告書制作費)	878
その他 (科学祭イベント補助スタッフ謝金等)	43
合計	3,325

■はこだて国際科学祭の1年



出展参加のご案内

■出展のメリット

○効果的な広報
公式ポスターやチラシ、新聞、ウェブサイトをはじめとする広報媒体により、函館道南地域の方々を中心にイベント開催を広くお知らせすることができます (掲載無料)。

○出展者同士の交流、学び合う仕掛け
出展者や協力者のお互いの学び合いの場として、スタッフ交流会、実施報告会、出展者交流会等を設定しています。

出展参加をご希望の方は、公式ウェブサイトの【お問い合わせ】にご一報ください。
<https://sciencefestival.jp/contact/>



■出展参加企画

以下の3つのプログラムに大別されます。

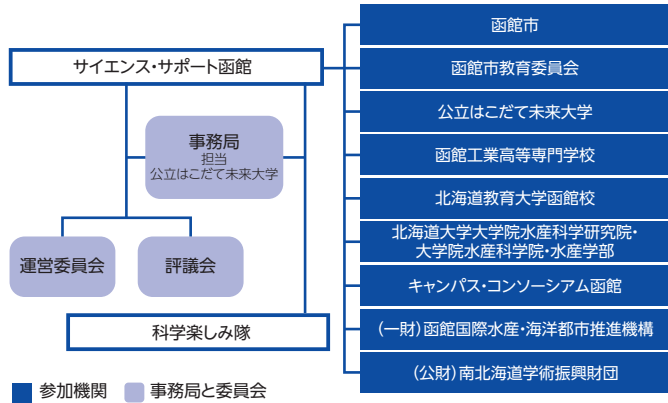
	内容	費用負担者
出展者ご自身で企画・運営いただくプログラム	持ち込み企画 出展者が有するオリジナルのプログラムを 広域はこだて圏内で開催	出展者
	広報連携企画 出展者が主催するイベントを はこだて国際科学祭プログラムとして広報	出展者
SSHが企画・運営に関わるプログラム	共催／協力企画 科学屋台 (体験ブース／高校生のサイエンス研究) の一つとして出展 科学夜話 (サイエンスカフェ) の一つとして出展	出展者 (一部SSH)
	主催企画	企画展
		サイエンスダイアログ (オープニング) SSH 科学夜話スペシャル (クロージング)

※はこだて国際科学祭への出展料は無料ですが、出展に係る経費や有料会場を使用した場合等の費用は、出展者ご自身でのご負担をお願いしています。

主催組織:サイエンス・サポート函館(SSH)

はこだて国際科学祭は、行政・高等教育機関・公的支援機関等、9つの参加機関で組織する任意団体「サイエンス・サポート函館」が主催しています。各参加機関に所属する運営委員による運営委員会においてサイエンス・サポート函館の実務に関する重要な意思決定を行っています。事務局を公立はこだて未来大学社会連携センターに置き、企画運営を担当しています。さらに、市民有志のグループ「サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊」の【運営協力】も科学祭の活動を支えています。

◎サイエンス・サポート函館の組織体制



◎サイエンス・サポート函館運営委員 (2025年12月現在)

代表／運営委員長

美馬のゆり (公立はこだて未来大学)

事務局

坂本敦美 (公立はこだて未来大学)

委員 (五十音順)

青木昌雄 (北海道教育大学函館校)

出林好成 (函館市／キャンパス・コンソーシアム函館／(公財) 南北北海道学術振興財団)

東海林智也 (函館工業高等専門学校)

永田 淳 (北海道大学大学院水産科学研究院・大学院水産科学院・水産学部)

長谷川浩平 (北海道大学大学院水産科学研究院・大学院水産科学院・水産学部)

本吉 勲 (公立はこだて未来大学)

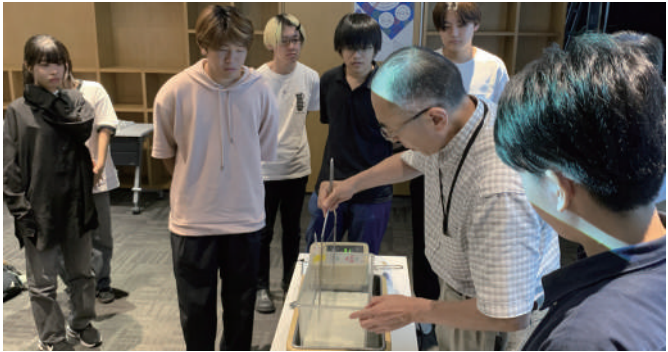
はこだて国際科学祭を支える活動

◎はこだて科学網

通年の活動として、サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊による実験教室の受付窓口や運営協力、科学祭出展団体による他のイベントチラシの配布協力等、さまざまな科学技術コミュニケーション・地域コミュニケーションの活動を通じて、地域活性化に努めています。

◎はこだて科学寺子屋

2009年より、科学コミュニケーション活動の担い手を育てることを目的として3日間の集中講座を開講しています。2020年から公立はこだて未来大学の辻義人准教授が担当講師を務め、企画運営を行っています。初日の公開講演会は、北海道大学教授の玖村朗人先生を講師に迎え、牛乳が酵素の働きで固まる様子を「見て触って味わう」という体験を通して、科学コミュニケーション活動を実践的に学びました。2日目3日目は3班に分かれて食にまつわるイベントを企画し、その成果発表の場として2週間後の科学祭に出展しました。



◎サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊

はこだて科学寺子屋の受講生が、はこだて国際科学祭をはじめとする科学イベントについて企画・参加・支援することを目的として、2011年に発足した市民有志のボランティア団体です。現在は20代から60代の多様なメンバー約20名で活動しています。目的に賛同していただける方ならどなたでも入会でき、随時メンバーを募集していますので、ご興味をお持ちの方は、サイエンス・サポート函館 事務局にお電話、または科学楽しみ隊公式ウェブサイトよりお気軽にお問い合わせください。



科学楽しみ隊に関する連絡先:

電話 0138-34-6527

(サイエンス・サポート函館 事務局)

科学楽しみ隊公式ウェブサイト

<https://tanoshimitai.science/member>



はこだて国際科学祭 2025 ご協力者一覧

ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。

●協賛

函館商工会議所



●後援

北海道
北斗市
北斗市教育委員会
七飯町
七飯町教育委員会
木古内町
木古内町教育委員会
北海道新聞社
函館新聞社
朝日新聞函館支局
日本経済新聞社函館支局
毎日新聞函館支局
読売新聞函館支局
NHK 函館放送局
HBC 函館放送局
STV 函館放送局
HTB 函館支社
UHB 北海道文化放送
TVh テレビ北海道
NCV 函館センター
FM いるか
一般社団法人 函館国際観光コンベンション協会
公益財団法人 函館地域産業振興財団
産学官連携「クリエイティブネットワーク」
一般社団法人 日本サイエンスコミュニケーション協会

●連携

2025 サイエンスパーク

●技術協力

UD トーク®

●主催・出演・協力

＊プログラム一覧 (p.18-19) 順。プログラム名の一部を記載。
主催者名を〈 〉で記載。敬称・役職略／組織名・所属は開催当時のもの。

- 函館マリンフェスティバル 2025
〈一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構〉
- 「ジオ・フェスティバル」ってなに？
〈ジオ・フェスティバル in Hakodate 実行委員会〉
- ドライアイス de サイエンスショー
〈函館市亀田交流プラザ〉
出演 井上千加子 (遺愛女子高等学校 教諭)
ボランティア 坪井柚季・川村優依・平岡波奈・岩本実那美・小野寺莉乃・三戸花音 (遺愛女子高等学校)
- ぶよぶよサイエンススノードーム
〈函館市女性センター〉
出演 井上千加子 (遺愛女子高等学校 教諭)
ボランティア 岩坂若菜・国谷涼香・室井珠希・金田あいら・佐藤夏南・松岡花凜奈 (遺愛女子高等学校)
- 科学で楽しく自由研究♪ 空気砲とかざ袋ロケットを作ろう
〈函館市青年センター〉
池田孝道 (センター長)
出演 井上千加子 (遺愛女子高等学校 教諭)
地域探究学習 北川寛静・荒木星夢・工藤洋人・葛西 翼 (市立函館高等学校)
ボランティア 上井陽菜・小野寺莉乃・櫻田みゆ (遺愛女子高等学校)
- ジオ散歩ミニ「鮫川洪水と緑園通の歴史をさぐる」
〈ジオ・フェスティバル in Hakodate 実行委員会〉
協力 サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊
- 手作り天体望遠鏡で月を見よう
〈はこだて天文宇宙クラブ〉
那須弘之 (代表)・丸藤 競・種田貴司・種田泰子・中野由貴・鍛冶裕之
協力 大矢京右 (市立函館博物館)
- 道南農試公開デー
〈北海道立総合研究機構 道南農業試験場〉
三好智明 (場長)・五十嵐俊成 (研究部長)
協力 北海道渡島総合振興局／北海道立総合研究機構 林業試験場 道南支場／渡島農業改良普及センター

- 食の講演会「ストーリーあるプロデュース」
〈電源開発株式会社〉
出演 伊藤亜由美 (株式会社クリエイティブオフィスキュー 代表取締役)
- 公開シンポジウム AI 時代に「対話」の意味を考える
〈日本学術会議第 1 部／日本学術会議北海道地区会議／はこだて未来大学〉
出演 大橋幸泰 (早稲田大学教育・総合科学学術院 教授)
河野哲也 (立教大学文学部教育学科 教授)
宇山智彦 (北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 教授)
定延利之 (京都大学大学院文学研究科 教授)
只野雅人 (一橋大学大学院法学研究科 教授)
岩井紀子 (大阪商業大学 JGSS 研究センター センター長)
中村征樹 (大阪大学全学教育推進機構 教授)
- SF プロトタイピング 100 年後の「食」
〈日本ファシリテーション協会 科学技術社会実装研究グループ〉
有村直子・石川 肇・岸田典子・小平 均・金 昭希・南部優子・西野靖江
- 大森浜ビーチコーミング「食と海ごみ」
〈ジオ・フェスティバル in Hakodate 実行委員会 チーム大森浜〉
- ブレインサイエンストーク 6 ～心の正体を科学でひもとく～
- 脳科学や心理学、アートを起業や企業経営に活かす in 函館
〈お茶の水女子大学 毛内研究室／経営と脳科学の研究部会〉
毛内 拡・大根一直・中村芳生
出演 東出浩教 (早稲田大学大学院ビジネススクール教授)
- 第 9 回 ジオ・フェスティバル in Hakodate
〈ジオ・フェスティバル in Hakodate 実行委員会〉
紀藤典夫・雁沢夏子・中嶋 久・輪嶋英明・花光隆太郎・香河正人・鍛冶裕之・高松諭志
出演 ユーラップジオパーク構想準備会
(高橋 静・加藤孝幸・三浦孝一・柴田信一・新谷 圭・政田翔太・赤井義範)
北大地球科学サークル GROUND
(米澤奈々珈・松岡 亮・伴 直樹・館野哲郎・西村 希・井上雪那・大西那奈海)
北翔大学教育学科
(中西和奏・石野森美侑・小川由貴・竹下さくら・境 大河・堀江快晴)
五日市 瞳・遺愛女子中学高等学校生物部
日野敬市・篠原 暁・竹内文実・山形 慶・出田 光
ボランティア 相上沙希・山岸実愛 (函館中部高等学校)
共催 北海道高等学校理科研究会「地学」
協力 森町防災課・北海道立オホーツク流水科学館・今金町教育委員会
- 昆虫学習会
〈函館市熱帯植物園〉
鈴木一郎 (NPO 法人函館エコロジークラブ)
出演 林原和哉 (「道南虫の会」会員)
- 企画展「おいしい」は、お皿の外からやってくる。
〈サイエンス・サポート函館〉
〈制作チーム FVR ラボ〉
深江園子・原田 泰
協力 日本海洋文化総合研究所／日本農業気象学会／ド・モンティエユ&北海道／毛内 拡／鼎山雅秀／五勝手屋本舗／レストラン noya／JUNYA OKAYAMA／ローカルレポリューション／HAC 北海道エアシステム／一印高田水産／レストラン AGRISCAPE
- サイエンスフォトコンテスト優秀作品パネル展示
〈科学技術広報財団／科学技術団体連合事務局〉
- ★《科学屋台》「はこだて赤tent」ロゴデザイン
木村健一 (公立はこだて未来大学 名誉教授)
- 《科学屋台》高校生のサイエンス研究
熊谷悟史 (教諭)・山本陽太郎 (函館大学付属柏稜高等学校)
古川茂樹 (教諭)・田中雅也・清水優基 (大野農業高等学校)
斉藤恭士・吉田龍哉 (教諭)・堀抜悠斗・安藤成那・土屋仁瑚 (大野農業高等学校)
山田 睦子 (教諭)・秋田朋殺・野村寿人・内川涼太郎・朴 預翰・佐藤琉生・白石空瑠・関口陽人 (七飯高等学校)
- 水と油の仲良しチョコレートケーキ
- DNA をとりだしてみよう
〈函館市青年センター〉
〈公益財団法人 南北海道学術振興財団〉
廣岡 優・引地俊貴
出演 佐々義子 (NPO 法人くらしとバイオプラザ 21 常任理事)
- サイエンスダイアログ「海ノ民話×食」
〈サイエンス・サポート函館〉
出演 池ノ上真一 (北海商科大学 教授)
深江園子 (フードライター・プランナー)
松浦俊彦 (サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊)
- 《科学屋台》電気をつくってみよう
〈電源開発株式会社〉
- 《科学屋台》血流を見て体内環境を考えよう！
〈株式会社浅井ゲルマニウム研究所〉
島田康弘 (研究部部长)・齋藤智基 (取締役)・正木光可・村上瑞稀
- 《科学屋台》月にかわって教えるよ
〈チーム月〉
鍛冶裕之 (函館市立北美原小学校 教諭)

- 《科学屋台》みんなの歯はどんなかたち？
〈いきもの進化ラボ〉
出田 光・戸塚まや
- 《科学屋台》人工知能を触って・遊んで・学んでみよう！
- AI って危険なの!? みんなで考えよう！
〈aiEDU JAPAN〉
永田文弥・前田 祥 (公立はこだて未来大学大学院)
- 《科学屋台》はこだて科学寺子屋 成果発表
辻 義人 (公立はこだて未来大学 准教授)
笹山瑛吉・後藤圭吾・佐藤 遙・平田 滯・牛渡陽菜・相馬琉音・大宮宙人・佐藤 瞭・古川智照・倉光美海・菊地皓太・佐藤颯太・山田怜武・梅井紀明・坂上友一・菊川隆斗・瀧谷梓美 (公立はこだて未来大学)
- ソブソブ博士と学ぶクッキングサイエンス
〈ソブソブ博士教育研究所〉
金 元憲
協力 株式会社函館研究所
- 「海ノ民話」から学ぶ海のめぐみ
〈一般社団法人 日本海洋文化総合研究所〉
池ノ上真一 (代表理事)・大内さおり・石丸優希 (事務局)
出演 石村 智 (国立文化財機構東京文化財研究所 無形文化遺産部部长)
久保華誉 (学習院大学、武蔵野大学非常勤講師)
栗原憲一 (株式会社ジオ・ラボ 代表取締役)
小峰彩椰 (江差町教育委員会 学芸員)
波房克典 (海ノ民話のまちプロジェクト 統括プロデューサー)
吉田沙織 (海ノ民話のまちプロジェクト プロデューサー)
伊藤慶子 (株式会社 WMI / 株式会社まゐらず 代表取締役)
ボランティア 渡邉茉実 (教諭)・風間飛鳥・西本理歩・早川萼花・住吉星南・阿部都和・今野礼果・浜野莉々杏 (北海道函館商業高等学校)
- 『百姓貴族』でつながる、牧場と食卓とわたし
〈ACADEMIJAN〉
荒木 藍・関本一樹・西村華純・福田佳緒里
出演 坂根遼太 (坂根牧場 代表)・清水池義治 (北海道大学大学院農学研究院 准教授)
協力 新書館／アニメ「百姓貴族」製作委員会
- マジカルスライムを作ろう！～温度で変わる魔法の色
- 科学技術映像祭入選作品上映会
〈はこだてみらい館〉
柴嶺 亮 (館長)・山田奏太・瀬々倉悠人
- 算数・数学を楽しもう！
〈南北海道創才教育推進会〉
松川文弥・船矢直子 (事務局)
出演 細水保宏 (明星小学校長・明星大学客員教授)
新美礼彦 (公立はこだて未来大学 教授)
- ≡の取り組みと、Pokke food museum
(Pokke dish)
齊藤豆胤 (オーナーシェフ)
協力 瀬川 愛
- 函館の高校生の食の祭典
(Pokke dish)
出演 平沼星奈・山口華凜・山崎那月 (北海道函館西高等学校)
協力 長澤元子 (北海道函館西高等学校 教諭)
- 哲学対話で考える「食」のこと
〈リベラルアーツとちぎ〉
藤平昌寿 (代表／自治医科大学医学部 客員研究員)
- プラネタリウム上映&星の観察会
〈NPO 法人 函館プラネタリウムの会〉
村井 茂 (代表)
- 木育～木でつくるカトラリー～
〈ななえ・大沼学びの森実行委員会〉
刈馬明子 (代表)・田中いづみ・澤村邦史・田中真一・村上嘉子
永井将人・高橋義信 (木族工房)
協賛 北海道渡島総合振興局産業振興部林務課
- うみをまるる給食かいぎ
〈鹿部町教育委員会〉
出演 成田正吾 (劇京旅館若松 料理長)・豊田孝行 (半農半医／和歌山県)・本田恵久 (CPP ジャパン)・長谷川照美 (ローラ♡ファーム)・柴田照子 (柴田農園)・柳田ふみ (めぐりる)・川本加奈 (長万部マリア幼稚園 園長)・盛田昌彦 (鹿部町長)・平島美紀江 (のこたべ)
- きこない防災教育フェス 2025
〈きこない防災教育フェス実行委員会〉
共催 木古内町・木古内町教育委員会
- 青少年のための科学の祭典 函館大会
〈青少年のための科学の祭典 函館大会 実行委員会〉
松浦俊彦 (委員長)・渡辺儀輝 (事務局)
- 函館高专メカニズムフェスティバル
〈函館工業高等専門学校〉
本村真治 (教授)・鈴木 学 (准教授)
出演 函館高专ロボット研究会

- おうちでサイエンス 2025
〈サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊〉
出演 井上千加子 (遺愛女子高等学校 教諭)
ボランティア 廣田奈々・黒田結以・松岡花凜奈・半田琴愛・櫻田みゆ・廣田結奈 (遺愛女子高等学校)
- 科学夜話スペシャル「大人のサイエンスバー」
〈サイエンス・サポート函館〉
出演 山本博紀 (株式会社アルパージュ)
申 東煥 (株式会社函館研究所 代表)
サワダササリ (サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊)
- つなげる ABA 世界自閉症サミット
〈つなげる ABA 世界自閉症サミット実行委員会〉
田中桜子 (委員長)
出演 テッサ・テラー (ジョンスホプキンス大学、Pediatric Feeding International)
ウィリアム・ヒューワード (オハイオ大学 名誉教授)
ジル・ダーディグ (ドミニカン大学 名誉教授)
共催 一般社団法人アジア・パシフィック ABA ネットワーク
- はこだて防災マルシェ
〈函館市女性会議〉
佐々木 香
〈函館市地域交流まちづくりセンター〉
- 海のサイエンスカフェ「砕氷船ポーラーシュテルンと行く！北極の海」
〈日本海洋学会 教育問題研究会／北海道大学 大学院水産科学研究院 上廣海洋学分野〉
出演 孫 恩愛 (北海道大学大学院水産科学研究院 特任助教)
上野洋路 (北海道大学大学院水産科学研究院 教授)

○サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊

笹原 悟・仙石智義・伴田 由・井上千加子・工藤世一・サワダササリ・松浦俊彦

○函館コミュニティプラザGスクエア

●その他ご協力

伊東大祐 (北海道総合政策部 計画局 科学技術振興課 産学官連携室)
中嶋靖訓 (函館市企業局 交通部 安全管理課)
清藤一実 (函館市教育委員会 生涯学習部 生涯学習文化課)
藤原友和 (函館市立鍛神小学校 教諭)
柴田和夫 (函館市亀田交流プラザ 施設管理)
村上幸義 (一位物産株式会社 代表取締役社長)
坂本哲也 (グランディールイチイ 支配人)
佐藤はるか (函館山ロープウェイ株式会社 FM いるか)
浅山 章 (日本経済新聞社 函館支局長)
末木伸弥 (北海道新聞社函館支社 営業部)
鹿内朗代 (北海道新聞社函館支社 報道部 記者)
星 茉莉枝 (北海道新聞社函館支社 報道部 記者)
押野友美 (株式会社北海道新聞 HotMedia 地域面担当 記者)
野長瀬郁実 (株式会社北海道新聞 HotMedia 地域面担当 記者)
山崎大和 (函館新聞社編集局 報道部長)
清水孝光 (函館新聞社編集局 記者)
市丸和秀 (函館新聞社編集局 記者)
竹田 亘 (函館新聞社編集局 記者)
早坂直美 (函館新聞社編集局 記者)
佐藤春那 (株式会社プリントハウス)
藤田道子 (株式会社ビデオ・ザ・キッド 取締役)
藤田恭吾 (株式会社ビデオ・ザ・キッド)
須田雅己 (株式会社ビデオ・ザ・キッド)
船戸大輔 (株式会社アートフル 代表取締役)
黒坂郁美 (株式会社アートフル)
手作りリパンの家 こすもす
函館国際ホテル
プレミアホテル・CABIN PRESIDENT- 函館
イマジン ホテル&リゾート函館
函館市勤労者総合福祉センター サン・リフレ函館
大沼国際セミナーハウス
七飯町文化センター

はこだて国際科学祭 2025 実施報告書
2025 年 (令和 7 年) 12 月

発行：サイエンス・サポート函館 代表 美馬のゆり
編集：坂本敦美 (サイエンス・サポート函館 事務局)
デザイン：原田 泰 (株式会社デザインコンパス 代表取締役)

お問い合わせ先
〒041-8655 北海道函館市亀田中野町 116-2
公立はこだて未来大学 社会連携センター内
サイエンス・サポート函館 事務局
e-mail info@sciencefestival.jp
URL https://www.sciencefestival.jp/
TEL 0138-34-6527



